

68 福島県環境創造センター整備事業 (三春町・大玉村・南相馬市・猪苗代町)

受賞機関 福島県

全建賞審査委員会の評価ポイント

環境回復・創造を目的に、「環境放射線等のモニタリング」や「環境回復・創造技術の調査・研究」などを行うための施設整備事業。設計・施工の工夫により、360°の球体シアターなど様々な機能を有する類例のない施設を実現していることを評価。

1. はじめに

福島県は、甚大な被害を受けた東日本大震災及び原子力災害からの環境回復及び創造に向け、環境放射線モニタリング、調査・研究、情報収集・発信、教育・研修・交流を行うための総合的な拠点として、本館・研究棟・交流棟（コミュタン福島）の3つの棟並びに関連施設からなる環境創造センターを整備した。

2. 事業の概要

(1) 環境創造センター（三春町）

関連機能の中核施設であり、本館、研究棟、交流棟の3棟により構成され、「モニタリング」、「調査・研究」、「情報収集・発信」、「教育・研修・交流」の4つの機能を有する。

(2) 野生生物共生センター（大玉村）

野生生物のモニタリング・保護の機能を有し、生物多様性に関する普及啓発を行う。

(3) 環境放射線センター（南相馬市）

原子力発電所周辺のモニタリングや空間放射線の常時監視を行う。

(4) 猪苗代水環境センター（猪苗代町）

猪苗代湖など河川・湖沼のモニタリング・水環境の普及啓発を行う。



環境創造センター全景

3. 事業の成果

本センターは、環境放射線に関する調査・研究、教育、情報発信等のため各諸室に様々な機能を配置しており、国内でも例のない施設となっている。

交流棟において整備した360°の球体シアターは、国内2例目ということで、事例が少なく、如何に施工精度を確保するかが課題であったが、現場協議の結果、3D-CAD図の活用により、特殊な部材、躯体、配管、ダクト、電気等の収まりや取り合いを検討・調整し、将来的なメンテナンスにも配慮した仕上がりとする事ができた。

また、再生可能エネルギーを積極的に導入するため、本館と交流棟の屋上にそれぞれ30kW、合計60kWの太陽光発電設備及び蓄電池を設置し、エネルギー消費性能の向上を図っている。

4. おわりに

本県は、前例のない原子力災害を経験したが、今後は、本センターを拠点としながら、県民の皆様が安心して快適に暮らせる環境づくりに取り組んでいきたい。

子どもたちを始め、多くの人々や様々な団体等が学びや体験から得た知識を共有し、それぞれの立場から「ふくしま」の未来を考え、創造・発信していくきっかけの場となれば幸いである。



360°の球体シアター外観

皆様も、ぜひ一度「福島県環境創造センター」に足を運びいただきたい。

最後に、様々な創意工夫をもって施工にあられた各工事の関係者の方々や関係機関の皆様へ深く感謝申し上げます。